

平成29年度

学校評価結果の報告

第1回	学校関係者評価委員会	-----	1頁
第2回	学校関係者評価委員会	-----	2頁
	自己評価書（第1回）	-----	3頁
	第1回学校評価（生徒）	-----	5頁
	" （先生）	-----	6頁
	" （保護者）	-----	7頁
第3回	学校関係者評価委員会	-----	8頁
	自己評価書（第2回）	-----	9頁
	第2回学校評価（生徒）	-----	11頁
	" （先生）	-----	12頁
	" （保護者）	-----	13頁

鹿児島女子高等学校

「学校関係者評価書」

- 1 日時
平成29年6月20日（火）14:00～15:30
- 2 場所
鹿児島女子高等学校 大会議室
- 3 評価方法
学校関係者評価委員（5名：城西公民館長，鹿児島西警察署生活安全課長，鹿児島県立短期大学教授，同窓会長，PTA会長）による評価

2 評価・要望の内容

評価項目	評価・要望の内容
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館を利用して勉強する生徒もいる。しっかり学習させることは大切なことである。 ・（質）日商簿記検定初級への取組は検討しているか。 （答）検討中である（現在3・2・1級は受験している）。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの使い方によっては、危険な目に遭う可能性があるという危機意識を持たせることが大切である。安易に接触を図らないでほしい。 ・自転車通学における安全、規範意識を高めることが大切である。 ・学生は無防備に個人情報公開している実情がある。 ・自転車通学生のスカートには気を付けてほしい。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・出口（就職・進学）指導の実績を残すことが大切である。 ・（質）県内志向の生徒が多いのはなぜだろうか （答）入学当初から生徒は県内希望の生徒が多いことや多くの県内企業から求人をいただいているためではないか。 ・生徒指導がしっかりしていると進路指導もいい。離職率が低いことが素晴らしい。マッチングも上手である。 ・県内志向は家庭の問題もあるのではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの新しい取組をしていることは評価できる。 ・子ども・保護者・中学校・企業に訴えていくこと、発信力が非常に大切である。このことは、グランドデザインにもある募集定員の確保につながる。利用できるものは何でも利用する姿勢がほしい。中学校の土曜授業を一緒に取り組んではどうだろうか。 ・私立学校は企業同様のやり方で行っており、宣伝力もすごい。 ・伝統ある学校で非常に良いイメージを持っている。 ・女子高というと固いイメージをもたれているが、先日のようなバラエティ番組に出ることで強烈な発信力につながる。 ・学校の情報を発信することが大切である。先日のMBC放送「ズバかご」の放映は、多くの人に好意的に受け取られているようだ。女子高は宣伝しないと思っていたが、どんどん発信してほしい。 ・学校便り「白梅通信」の発行はよい取組である。 ・メディアに出ることは大切である。（素晴らしいしつげの面と、こんなことをしてもいいんだという両方で表現できたことにより強烈なインパクトを与えることができた）。

「学校関係者評価書」

- 1 日時
平成29年10月11日（火）14:00～16:00
- 2 場所
鹿児島女子高等学校 大会議室
- 3 評価方法
学校関係者評価委員（5名：城西公民館長，鹿児島西警察署生活安全課長，鹿児島県立短期大学教授，同窓会長，PTA会長）による評価

2 評価・要望の内容

評価項目	評価・要望の内容
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業見学では，生徒が進んで学習している姿を見ることができた。 ・どの学年も一生懸命勉強している，姿勢も良かった。 ・授業では，今日の課題をしっかりと示すことが大切である。 ・自宅学習をさせるための工夫が必要である。休み時間などを利用して，学習することも必要である。 ・自分の担当クラスをしっかりとまとめることが大切である。 ・校舎がきれいである。生徒は楽しそうに授業を受けている印象を受けた。 ・英語の重要性かつ必要性をしっかりと教えるための授業方法の工夫をお願いしたい。ALTの活用は効果があると思う。 ・ベースになるマナー教育等はよくできている。そのベースがあるので，もっと学習にも力を入れることができる。 ・スカートの直し方等マナー指導は必要である。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ・（質）生徒指導上の問題や支援の必要な生徒がいるか。 （答）鹿女子卒としてのプライドが持てるよう，また，胸を張って鹿女子卒ですと答えられる生徒を育成することに重点を置いている。大部分は良い生徒であるが，一部けじめがないなど気になる生徒がいる。 ・警察に関係する（心配するような）問題事案の報告はない。 ・ケガへの対策，油断しないことが大切である。 ・学校内でも自転車の施錠をしてほしい。 ・叱るのではなく，同窓生として同じ目線に立って声掛けをしている。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の大学入試制度の確認が必要である。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の評価がすべてAであった。 ・靴箱，トイレ，ロッカー等非常にきれいである。 ・校門に入ると凛とした雰囲気がある。 ・選挙への関わりについて疑問があれば，警察にも聞いてください。 ・鹿女子ブランドを大切にして，他校の生徒の範となって欲しい。 ・調理室の使用していない椅子が机上にあるのは違和感をおぼえた。 ・（質）主権者教育の取組はどうしているか。 （答）生徒会選挙時に明推協と連携し，模擬投票を行うなどしている。 ・（質）選挙違反の事例はどのように指導しているか。 （答）先輩だから投票してください等のお願いをツイッターに載せたり，ジュース一本での投票は買収にあたる。

平成29年度 学校評価 自己評価書 (第1回目)

1 教育の目標

日本国憲法・教育基本法の精神及び建学の精神に基づき、平和的な国家及び社会の調和のとれた有為な形成者としての人格の陶冶を図る。
鹿児島市の「豊かな心と個性を育む鹿児島市の教育と文化の創造」を基本理念として、豊かな心を持ち個性と創造性にあふれ、国際的な視野に立って明日を切りひらく、健康で生き生きとした人材を育てる。

- ア 基本的生活習慣を確立して潤いのある豊かな心を育み、他者とともに生きる態度を育てる。
- イ 基礎的・基本的内容の定着に努め、論理的思考力、創造力、表現力を養う。
- ウ いかなる困難な課題にも主体的に立ち向かう強い意志力と、問題解決に挑む知的探求心を養う。

2 経営方針・本年度の努力点

【経営方針】

- 1 師弟同行を通して、校訓「勤労自治」「清純理知」「進取気魄」の具現化を図り、品格ある校風を醸成する。
- 2 生徒一人一人を大切に教育を展開し、知性を磨きそれぞれの個性や能力を豊かに伸ばす。
- 3 生徒が望ましい人生観・職業観を確立し、早く人生の目標を樹立するとともに、意欲を持って継続的に努力し、自己実現を達成できるようにする。
- 4 生命の尊厳を自覚し、人権を尊重して、自分を大切にすると同時に他者への思いやりを大切に育てる。

【本年度の努力点】

- 1 確かな学力の涵養を図るため、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、論理的思考力や創造力等の育成に努める。
- 2 生徒一人一人の個性や能力を伸長するため、個を生かした指導を進めるとともに、部活動等の教科外活動の一層の充実を努める。
- 3 心豊かな人間性の育成や好ましい人間関係を醸成するため、挨拶や言葉遣い等の基本的生活習慣を確立するとともに、読書習慣の形成に努める。
- 4 体力や運動能力の向上に努めるとともに、健康の維持に積極的に取り組む態度の育成に努める。
- 5 教育課程の円滑な実施を推進し、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成に努める。
- 6 新学習指導要領の理念・内容を踏まえつつ、特色ある教育課程の編成に向けて多角的な視点からの検討・考察に努める。
- 7 情報活用能力の育成及び情報発信・広報の一層の推進に努める。

3 自己評価表

領域	項目	具体的な目標	目標に対する具体的方策	○成果 △課題
教育目標等	教育の目標	・本校の教育目標に対する生徒の理解を深化させる。	・全体朝礼や学年・学科別朝礼での講話等を通して理解を深めさせる。	△全体朝礼や学年・学科別朝礼での講話を通して、本校の教育方針や歴史・伝統を考えさせる機会にする。
	経営方針・本年度の努力点	・職員の共通理解の深化に努める。	・各学期の反省について、細部の点検を行い、改善すべき点は早めに対応して次学期に生かせるよう努力する。	○定期的な評価と反省により、課題や改善点、新たな取組を明確にし、即実践に努める。 ※鹿女子活性化委員会を定期的に開催し、できることから順次実践している。
各部・各学年の重点課題	教務部	・授業時数の確保に努め、各部・各係間の業務円滑化の調整を行う。 ・生徒の充実した学習活動の実践と教職員の指導体制を支援する。	・授業や会議等の時間確保のために必要な学校行事の精選と日程調整を計画的に行う。 ・生徒の自主活動である朝自習や黙想等に落ち着いて取り組む雰囲気を作る。	○週案等や毎月の行事予定表を作成し、会議等の時間確保を図っている。 △生徒会と連携し、黙想・門札・無言作業(3M活動)の定着を図り、学習活動に繋がる雰囲気作りに努めている。
	生徒指導部	・校訓「勤労自治」「清純理知」「進取気魄」にふさわしい、21世紀を担う聡明で自己教育力のある女子高生の育成に努める。 ・基本的生活習慣の確立や伝統の継承。 ・学習と部活動との両立。 ・教育相談活動の充実と、いじめや不登校及び中途退学等の未然防止。	・服装、あいさつ等の基本的なことが徹底できるよう繰り返し指導する。 ・校内外においての端正な制服の着装や規範意識の向上を図る。 ・個別指導の徹底に努める。 ・担任、養護教諭、スクールカウンセラー、各係との連携を図り、全職員が共通理解のもとに指導できる体制で課題解決に臨む。	△更なる全職員の共通理解と実践を基本として、伝統を継承する指導が必要である。 ○交通違反・マナー違反の通報等は、直ちに全生徒への注意喚起を行い指導している。定期的な校内外での立哨指導や校外巡視指導を行った。 △鹿女子の生徒としてのプライドや自主性を育成するための更なる工夫を構築する必要がある。 ○特別支援教育の視点が必要な生徒に対して、関係機関等との連携を進めるとともに、全職員への共通理解に努めている。

領域	項目	具体的な目標	目標に対する具体的方策	○成果 △課題
各部・各学年の重点課題	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観、職業間の育成を図り、将来の生き方や在り方を考え、主体的に進路を選択することが出来るよう計画的・組織的な進路指導を推進する。 ・基礎学力を身につけ、一人一人の能力・適性を生かした進路指導の充実を図る。 ・進学希望者の増加や、大学の入試制度の多様化に対応した進学指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に進路選択できるような計画的・組織的なキャリア教育を実践する。 ・各教科における基礎学力の向上に向けた徹底指導と、個性、能力、適正に応じた進路指導の充実を図る。 ・特設教科指導や小論文指導、夏季特設教科指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通した様々な行事や調査、LHRでの指導など、学年進行に応じて計画的・組織的なキャリア教育を実践し、生徒の進路意識の啓発を行っている。 △文字力テストや英単語テスト、特設教科指導や小論文指導などを実施し、あらゆる角度から基礎学力向上に結びつく取組に努めている。 ○徹底した面接指導、事前指導及び校内選考会を充実させ、併せて就職支援員のきめ細やかな指導による意識付けが円滑な進路決定に結びついている。
	保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に即した特色ある体力づくりを推進する。 ・校内事故防止のための安全点検と安全指導の徹底を図る。 ・健康診断を実施し、適切な事後措置と健康相談の推進を図る。 ・性に関する正しい知識と行動がとれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育的活動を通して、体力向上を図るとともに、体力テスト等の結果をもとに、運動技能を高める。 ・毎月の校内安全点検を実施し、事故防止に取り組む。 ・健康診断や健康相談を通じて、各自の健康状態を把握させ、健康な学校生活を送らせる。 ・性感染症に対して正しい知識が持てるように、あらゆる機会を通じて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体力テストの結果を分析し、毎時間の授業で数種目のトレーニングを実施し、体力向上に努めている。 ○毎月22日を「校内安全点検日」と設定し、全職員で危険箇所の確認と早急の対応に努めている。 ○健康診断の結果は、本人や保護者に対し、早急に治療勧告書を発行し、治療を勧めている。 ○全校生徒に対して、性行動や性感染症についての講話を実施している。
	1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立を図る。 ・高校生活における生活習慣を確立させる。 ・まとまりのある学級作り行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人の進路目標を立てさせ、目標に応じた学習習慣を確立させる。 ・早期に高校の環境に慣れさせ、生活習慣リズムを確立させる。 ・学校行事への積極的参加を通して学級のまとまりを深める。 ・部活動への加入を促し、学校生活の充実を図る。 ・関係職員・保護者との連携を図り精神面のサポートを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> △全体的に授業態度等は良好であるが、一部に取組の悪い生徒がいる。また、自宅学習の習慣化が大きな課題である。 △挨拶・礼法が身に付いていない生徒には、今後も継続的に指導を徹底したい。 ○生徒は遠距離通学や寮生活に慣れてきており、生活面・部活動等を含め生活習慣は徐々に確立してきた。 ○本校の特色ある教育活動に、生徒たちが積極的に取り組むよう指導ができた。
	2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現を見据えて学力向上を図る。 ・中堅学年としての自覚ある学校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習の習慣化を定着させ、自己学習力の向上を図る。 ・本校の校風に沿った服装容疑指導や立ち居振る舞いを指導する。 ・職場体験学習や学校行事などの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験学習において積極的に活動することができ、進路意識が高まった。今後は、進路実現のために日ごろの学習に対して、更に積極性や自主性を持たせる指導を行う。 △服装容疑、立ち居振る舞いなど、おおむね良好であるが、一年後の就職・進学を意識した指導を今後も行っていく必要がある。
	3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の希望に沿った進路実現を図る。 ・進路では、生徒の希望と適正を十分に検討し、ミスマッチを極力防ぐよう指導している。 ・最高学年としての自覚を持たせ、社会生活に対応できる人間形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部との密接な連携や3年担任会での積極的な情報交換を行う。 ・進学検討会、就職三者面談を通して、本人・保護者の意向を確認した上で、志望先が適性かも含め検討していく。 ・学年別朝礼での学級代表スピーチなど、学校行事への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導部と密接な連携をとり、また毎週1回の3年正担任会で情報交換を十分に行い共通実践ができています。 ○進路指導部とも常に情報交換し、校内選考会において、本人の希望だけではなく適性も勘案し、変更も視野に指導している。 ○学年別朝礼(年6回)で生徒の活動を促し、集団としての一体感を作り、3学年としての自覚と進路実現のための雰囲気を高めた。

平成29年度 第1回 学校評価（生徒）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A:4・3の合計80%以上 B:4・3の合計79～60%以上 C:4・3の合計59～30%以上 D:4・3の合計29%以下

項目	評価の観点	評価				判定
		4	3	2	1	
1	学校生活	学校生活は楽しい。				A
2	教育方針	校訓(勤労自治, 清純理知, 進取気魄)を意識して学校生活を送っている。				B
3	学力向上	授業を大切にし学力向上や資格取得等に積極的に取り組んでいる。				A
4	授業理解	授業は, 理解している。				A
5	授業評価	先生方は, 教え方を工夫して, わかりやすい授業に努めている。				A
6	自宅学習	自宅での学習は, しっかり取り組んでいる。				C
7	校則遵守	校則や規則などを守って過ごしている。				A
8	特別活動	生徒会活動や部活動及びボランティア活動等に積極的に参加している。				B
9	教育相談	学校は, 生徒の悩み等について, 親身になって相談に乗ってくれる。				A
10	将来設計	将来の進路について, 真剣に考えながら高校生活を過ごしている。				A
11	進路実現	学校は, 生徒の進路実現に向けて, 一生懸命取り組んでいる。				A
12	環境美化	無言作業や校内の美化等にしっかり取り組んでいる。				A
13	健康管理	毎日, 健康管理や安全面に気をつけて生活している。				A
14	施設設備	校内の施設, 設備はよく整備されている。				A
15	連絡	学校からの諸連絡等は, 確実に保護者に届けている。				A
16	満足度	鹿児島女子高等学校に進学して良かったと思っている。				A

<所見>

判定の内訳は, A 13, B 2, C 1である。93%以上の生徒が, 学校生活は楽しいと感じ, 本校に進学して良かったと評価している。この数字は昨年度より増加している。また, 本人の学力向上や先生方の授業評価についても昨年度より増加しており, 授業改善についての効果が見られる。

一方, 自宅学習の取組については例年通りCの評価であり(昨年よりは増加している), 引き続き習慣化の工夫が必要である。また, 環境美化については昨年度より減少しており, 無言作業等の取組の徹底が必要である。

平成29年度 第1回 学校評価（教師）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A: 4・3の合計80%以上 B: 4・3の合計79～60%以上 C: 4・3の合計59～30%以上 D: 4・3の合計29%以下

項目	評価の観点	評価(人)				判定
		4	3	2	1	
目標	1 本校の教育目標を職員全員が共通理解し、達成のための共通実践がなされているか。	20	34	2	0	A
	2 師弟同行をとおして、校訓の具現化を図り、品格ある校風の育成に努力しているか。	23	30	3	0	
	3 一人一人を大切にすることを展開し、知性を磨き個性や能力を豊かに伸ばす指導をしているか。	23	32	1	0	
	4 望ましい人生観・職業観を確立し、意欲を持って自己実現が達成できるよう指導しているか。	20	35	1	0	
	5 生命の尊厳を自覚し、人権を尊重して、自他共に大切にすることを育成しているか。	26	30	0	0	
校務	6 全体的に適切な計画を立て、見直しをもって主体的に仕事を進めているか。	23	31	2	0	A
学習指導	7 教材の精選、授業の工夫・改善等の教材研究に心がけ、わかりやすい授業に努めているか。	19	36	1	0	
	8 学力差や理解度に応じて、補習・添削指導等の個別指導を行っているか。	17	30	9	0	
	9 進度に応じて適切に課題を与えとともに、確実に回収・点検をしているか。	22	33	1	0	
	10 授業の開始及び終了は、時間通りに行っているか。	20	34	2	0	
	11 成績不振者や欠課等の多い生徒について、担任・保護者との連携はとれているか。	21	32	3	0	
	12 授業の内容や説明を生徒がよく理解できていると思うか。	10	42	4	0	
生活指導	13 問題行動に対して、全職員の共通理解・共通実践のもと、毅然とした態度で対処しているか。	23	30	3	0	A
	14 問題行動や事故等の未然防止や早期発見及び事後の指導に十分に努めているか。	25	31	0	0	
	15 生徒の悩み等について、カウンセリングを行うなど親身になって相談に応じているか。	25	29	2	0	
	16 欠席等の多い生徒に対して、家庭や関係機関と連携を図りながら解消に努めているか。	27	29	0	0	
	17 教室や部室等の管理について、整理整頓の状況を点検するなど指導に努めているか。	20	35	1	0	
	18 生徒会活動等に対して、積極的に参加するよう指導に努めているか。	25	30	1	0	
進路指導	19 3年間を見通した指導計画に沿って、進路指導が適切に行われているか。	20	32	4	0	A
	20 将来の人生設計を立て、目的意識をもった生活ができるよう、適切な指導に努めているか。	21	31	4	0	
	21 個々の進路に応じた受験対策（教科指導、小論文指導、面接指導等）が適切に行われているか。	21	33	2	0	
	22 進路希望の多様化に伴い、職員、生徒、保護者の意見を参考に積極的な指導に努めているか。	22	33	1	0	
	23 関係資料の収集・整理・保管が適切になされているか。	20	35	1	0	
	24 外部講師を招聘するなど、効果的に進路に関する行事を計画し実践しているか。	22	32	2	0	
保健指導	25 健康管理に関する指導が適切にされているか。	22	33	1	0	A
	26 定期的な施設・設備の安全点検や安全に対する事前指導等、安全管理が適切になされているか。	24	29	3	0	
	27 防火・防災に関する指導や訓練が的確にされているか。	24	30	1	0	
	28 清掃の徹底を図るなど、生徒の学習や生活の場としてふさわしい環境に整備されているか。	28	28	0	0	
	29 体育部会や生徒保健委員会、学校保健委員会等が機能しているか。	26	29	1	0	
	30 ゴミの減量化や分別及び節水・節電等の環境教育の推進に努めているか。	14	34	8	0	
学年指導他	31 学年の指導計画及び仕事分担は、適切になされているか。	23	30	3	0	A
	32 学年集団のまとまりや他の学年、各部、各教科との連携が適切にとれているか。	21	33	2	0	
	33 学級日誌、週番日誌及び各種公・表簿等の正確な記入・点検に努めているか。	24	31	1	0	
	34 教育者として服務規律の遵守に努めているか。	33	22	1	0	
	35 保護者・地域等と連携して効果的な教育活動が実践できているか。	18	36	2	0	

<所見>

全体的に各項目の評価は高く、全てA判定である。「問題行動等の未然防止」や「家庭や関係機関との連携」については、全員がおおむね達成していると評価している。

一方、「学力差に応じた個別指導」や「ゴミの分別及び節水・節電等」については、やや不十分との回答が多く、個別指導の時間確保と確実に学習指導を行う工夫などが必要である。また、環境教育に対する意識の向上にも努める必要がある。

平成29年度 第1回 学校評価（保護者）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A: 4・3の合計80%以上 B: 4・3の合計79～60%以上 C: 4・3の合計59～30%以上 D: 4・3の合計29%以下

項目	評 価 の 観 点	評 価				判定	
		4	3	2	1		
1	教育方針	本校の教育方針を理解されていますか。	37.7%	56.6%	5.7%	0.0%	A
2	信頼関係	教師と生徒の信頼関係のもとに、諸教育活動が行われていると思いますか。	48.0%	42.0%	6.0%	4.0%	A
3	学校生活	学校に温かい雰囲気があり、生徒が楽しく過ごしていると思いますか。	59.6%	32.7%	5.8%	1.9%	A
4	創意工夫	学校は、創意工夫を生かした教育活動を展開していると思いますか。	44.2%	46.2%	5.8%	3.8%	A
5	学力向上	学校は、学力向上に向けてよく指導していると思いますか。	36.5%	44.2%	15.4%	3.8%	A
6	生徒指導	学校は、生徒の生徒指導に対して、厳しく指導していると思いますか。	56.6%	35.8%	7.5%	0.0%	A
7	礼儀作法	生徒は、誠実であいさつや服装などしっかりして好感がもてますか。	73.6%	24.5%	1.9%	0.0%	A
8	教育相談	教師は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じていると思いますか。	44.2%	46.2%	5.8%	3.8%	A
9	部活動指導	教師は、部活動の指導等に積極的であると思いますか。	65.4%	28.8%	5.8%	0.0%	A
10	進路実現	学校は、生徒の進路目標の実現に向けてよく指導していると思いますか。	53.8%	38.5%	5.8%	1.9%	A
11	安全指導	学校は、健康や安全について、しっかりと指導していると思いますか。	44.2%	50.0%	1.9%	3.8%	A
12	健康相談	学校は、生徒の健康上の悩みについて気軽に相談できると思いますか。	34.6%	44.2%	17.3%	3.8%	B
13	生活環境	学校は、きれいで清潔な生活環境になっていると思いますか。	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%	A
14	PTA活動	学校は、PTA活動に協力的に参加していると思いますか。	65.4%	28.8%	5.8%	0.0%	A
15	地域連携	学校は、保護者や地域社会に信頼されていると思いますか。	69.8%	24.5%	3.8%	1.9%	A
16	満足度	自分の子どもを本校に入学させてよかったと思っていますか。	82.7%	13.5%	0.0%	3.8%	A

＜所 見＞

ほとんどの項目がA判定であり、本校の教育方針を理解し、教育活動全般において本校を高く評価している。
一方、「健康相談」は唯一B判定であり、健康上の悩みについて気軽に相談できる雰囲気づくりを整えるとともに、学校側の支援体制を保護者に理解してもらう工夫が必要である。また、ほとんどの項目で若干ではあるが「不十分である」の回答があり(昨年度までは0%)、今後の課題としてしっかり分析し対策を検討する必要がある。

「学校関係者評価書」

- 1 日時
平成30年2月8日(木) 14:00~16:00
- 2 場所
鹿児島女子高等学校 大会議室
- 3 評価方法
学校関係者評価委員(3名:鹿児島西警察署生活安全課長, 鹿児島県立短期大学教授, P T A会長)による評価
- 4 評価・要望の内容

評価項目	評価・要望の内容
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の評価において、「自宅学習」の評価がCであるが、これは生徒が自覚をしている証拠である。 ○資格取得に力を入れている様子がうかがえる。 ○スイーツの販売を行っていたが、利潤を求めてもよかったのではないか。検定の学習意義と商売を結びつけるよい機会だったと思う。 ○マナー講座も開かれているが、マナーは継続指導があってこそ身に付くものである。調理でフルコースを作るのなら、同時にいただく際にマナーも学習させてみてはどうか。 ○せっかくフルコースを作るのなら、外部の方に提供し、接客や給仕の仕方を教えるのもいいのではないか。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ○年始から大きな事件(松陽台)があった。 (質) 生徒への影響、または学校内外での問題点があれば教えて欲しい。 (答) 特に影響を受けたという報告は挙がっていない。 ・危機意識を変わらず持ち続けてほしい。 ・もたらされる情報のコントロールや、道徳性(憶測でものを言わない、発信しない等)を指導してほしい。 ○管内の少年事件は減少傾向にあるが、なくなったわけではない。特に中央駅界隈や公共交通機関内で多発している。 ○福祉犯罪(買春等)は、被害者の方からはまっていく傾向がある。携帯電話・スマートホンは危険をはらんでいるという意識を持たせて欲しい。 ○生徒の評価で「教育相談」分野の「あまり十分でない~十分でない」が15%近くあるのは改善していくべき項目である。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導で、生徒の希望とのミスマッチがないのがよい。 ○「就職後に役に立たない」という理由で、資格取得に積極的でない短大生がいる。 ・チャレンジする心があるか、入社してから必要となったときに取り組むか、という観点から面接を行う企業もある。 ・県立短大では取得資格によって、授業が免除になることもある。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価でいつもAが並んでいるのはすばらしい。 ○生徒のことを考える活動がなされている。(検定、部活動等) ○お菓子禁止の部活動があるが、なぜ禁止にしているのか考えさせてほしい。「心の鍛錬」という位置づけ以外に)

平成29年度 学校評価 自己評価書 (第2回目)

1 教育の目標

日本国憲法・教育基本法に基き、平和的な国家及び社会の調和のとれた有為な形成者としての人格の陶冶を図る。鹿兒島市の「豊かな心と個性を育む鹿兒島市の教育と文化の創造」を基本理念として、豊かな心を持ち個性と創造性にあふれ、国際的な視野に立って明日を切りひらく、健康で生き生きとした人材を育てる。

- ア 基本的な生活習慣を確立して潤いのある豊かな心を育み、他者とともに生きる態度を育てる。
- イ 基礎的・基本的内容の定着に努め、論理的思考力、創造力、表現力を養う。
- ウ いかなる困難な課題にも主体的に立ち向かう強い意志力と、問題解決に挑む知的探求心を養う。

2 経営方針・本年度の努力点

【経営方針】

- 1 師弟同行を通して、校訓「勤労自治」「清純理知」「進取気魄」の具現化を図り、品格ある校風を醸成する。
- 2 生徒一人一人を大切に教育を展開し、知性を磨きそれぞれの個性や能力を豊かに伸ばす。
- 3 生徒が望ましい人生観・職業観を確立し、早く人生の目標を樹立するとともに、意欲を持って継続的に努力し、自己実現を達成できるようにする。
- 4 生命の尊厳を自覚し、人権を尊重して、自分を大切にすると同時に他者への思いやりを大切に育てる。

【本年度の努力点】

- 1 確かな学力の涵養を図るため、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、論理的思考力や創造力等の育成に努める。
- 2 生徒一人一人の個性や能力を伸ばすため、個を生かした指導を進めるとともに、部活動等の教科外活動の一層の充実を努める。
- 3 心豊かな人間性の育成や好ましい人間関係を醸成するため、挨拶や言葉遣い等の基本的な生活習慣を確立するとともに、読書習慣の形成に努める。
- 4 体力や運動能力の向上に努めるとともに、健康の維持に積極的に取り組む態度の育成に努める。
- 5 教育課程の円滑な実施を推進し、社会の変化に主体的に対応できる人間の育成に努める。
- 6 新学習指導要領の理念・内容を踏まえつつ、特色ある教育課程の編成に向けて多角的な視点からの検討・考察に努める。
- 7 情報活用能力の育成及び情報発信・広報の一層の推進に努める。

3 自己評価表

領域	項目	具体的な目標	目標に対する具体的方策	○成果 △課題
教育目標等	教育の目標	・本校の教育目標に対する生徒の理解を深化させる。	・全体朝礼や学年・学科別朝礼での講話等を通して理解を深めさせる。	○全体朝礼をはじめ、各種行事等での講話を通して、本校の建学の精神を基本とする教育方針等を考えさせることができた。
	経営方針・本年度の努力点	・職員の共通理解の深化に努める。	・各学期の反省について、細部の点検を行い、改善すべき点は早めに対応して次学期に生かせるよう努力する。	○年間反省を踏まえて、課題や改善点を明確にし、年度途中での実施に努めた。特に、鹿女子活性化委員会にて提案された、学校ブログ開設、学校だより発行、学校紹介DVD製作など多くの項目が実践された。
各部・各学年の重点課題	教務部	・授業時数の確保に努め、各部・各係間の業務円滑化の調整を行う。 ・生徒の充実した学習活動の実践と教職員の指導体制を支援する。	・授業や会議等の時間確保のために必要な学校行事の精選と日程調整を計画的に行う。 ・生徒の自主活動である朝自習や黙想等に落ち着いて取り組む雰囲気を作る。	○週案等や毎月の行事予定表を作成し、会議等の時間確保を図ることができた。 ○生徒会と連携し、黙想・門礼・無言作業(3M活動)の定着を図り、学習活動に繋がる雰囲気作りに取り組めた。
	生徒指導部	・校訓「勤労自治」「清純理知」「進取気魄」にふさわしい、21世紀を担う聡明で自己教育力のある女子高生の育成に努める。 ・基本的な生活習慣の確立や伝統の継承。 ・学習と部活動との両立。 ・教育相談活動の充実と、いじめや不登校及び中途退学等の未然防止。	・服装、あいさつ等の基本的なことが徹底できるよう繰り返し指導する。 ・校内外においての端正な制服の着装や規範意識の向上を図る。 ・個別指導の徹底に努める。 ・担任、養護教諭、スクールカウンセラー、各係との連携を図り、全職員が共通理解のもとに指導できる体制で課題解決に臨む。	○全職員の共通理解と実践を通して、伝統を継承する指導を行った。 ○交通違反やマナー違反の通報等は、直ちに全生徒への注意喚起を行い指導した。定期的な校内での校門指導や校外での交通指導を行った。 ○不登校生徒に対して、関係機関と連携を進めた。また、全職員への共通理解を図った。 △軽微な違反を「見逃さない指導」の実践を全職員で徹底したい。

領域	項目	具体的な目標	目標に対する具体的方策	○成果 △課題
各部・各学年の重点課題	進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 望ましい勤労観、職業間の育成を図り、将来の生き方や在り方を考え、主体的に進路を選択することが出来るよう計画的・組織的な進路指導を推進する。 ・ 基礎学力を身につけ、一人一人の能力・適性を生かした進路指導の充実を図る。 ・ 進学希望者の増加や、大学の入試制度の多様化に対応した進学指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に進路選択できるような計画的・組織的なキャリア教育を実践する。 ・ 各教科における基礎学力の向上に向けた徹底指導と、個性、能力、適正に応じた進路指導の充実を図る。 ・ 特設教科指導や小論文指導、夏季特設教科指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じて様々な行事や調査、LHR指導等の学年進行に応じた計画的・組織的な進路指導を行った。 ○ 徹底した面接指導や事前指導の充実及び就職支援員のきめ細かい指導と的確なアドバイスにより、多くの生徒の進路決定に結びついた。 ○ 進学に必要な小論文や作文の指導においては、先生方の協力により、国公立大学や公立・私立短大などの合格者を出せた。 △ 文字力や英単語力、時事問題等を学習し、進路実現の方策として「朝のスタディータイム」を実施してきたが、全生徒の自発的な取り組みには至らなかった。
	保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態に即した特色ある体力づくりを推進する。 ・ 校内事故防止のための安全点検と安全指導の徹底を図る。 ・ 健康診断を実施し、適切な事後措置と健康相談の推進を図る。 ・ 性に関する正しい知識と行動がとれるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育的活動を通して、体力向上を図るとともに、体力テスト等の結果をもとに、運動技能を高める。 ・ 毎月の校内安全点検を実施し、事故防止に取り組む。 ・ 健康診断や健康相談を通じて、各自の健康状態を把握させ、健康な学校生活を送らせる。 ・ 感染症に対して正しい知識が持てるように、あらゆる機会を通じて指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストの結果を分析し、毎時間の授業で数種目のトレーニングを実施し、体力向上に努めている。 ○ 毎月22日を「校内安全点検日」と設定し、全職員で危険箇所の確認と早急の対応に努めている。 ○ 健康診断の結果は、本人や保護者に対し、早急に治療勧告書を発行し、治療を勧めている。 ○ 学年に応じて、性行動や感染症についての講話を実施している。
	1 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の確立を図る。 ・ 高校生活における生活習慣を確立させる。 ・ まとまりのある学級作り行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々人の進路目標を立てさせ、目標に応じた学習習慣を確立させる。 ・ 早期に高校の環境に慣れさせ、生活習慣リズムを確立させる。 ・ 学校行事への積極的参加を通して学級のまとまりを深める。 ・ 部活動への加入を促し、学校生活の充実を図る。 ・ 関係職員・保護者との連携を図り精神面のサポートを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化祭以降、授業等、落ち着いた態度で臨めるようになった。1学期より提出期限を守るようになってきており、鹿女子の一員である自覚がでてきたように感じる。 △ 学力の差がどんどん広がっている。勉強に積極的に取り組む生徒と欠点を取る生徒や検定に合格しない生徒が固定化している。また、様々な生徒（病気等）が入学している点に留意して指導していく必要がある。 ○ 長欠の生徒がカウンセリングを受けるなど定期的に学校に来るようになり良かった。しかし、教室には未だ入れない状況である。
	2 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路実現を見据えて学力向上を図る。 ・ 中堅学年としての自覚ある学校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅学習を習慣化させ、基礎学力の向上を図る。 ・ 本校の校風に沿った服装容疑指導や立ち居振る舞いを指導する。 ・ 職場体験学習や学校行事などの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 検定に向けて熱心に取り組むなど進路実現に向けて意識の高い生徒がいる一方、一部朝自習への取組が悪く、漫然と過ごしている生徒も見受けられる。 ○ 美化コンクールなど学校行事に熱心に取り組む姿が見られた。 △ 修学旅行において服装の乱れが見られるなど、まだ鹿女子生としての自覚に欠ける部分があるので、今後も指導をしていかなければならない。
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の希望に沿った進路実現を図る。 ・ 進路では、生徒の希望と適正を十分に検討し、ミスマッチを極力防ぐよう指導している。 ・ 最高学年としての自覚を持たせ、社会生活に対応できる人間形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路指導部との密接な連携や3年担任会での積極的な情報交換を行う。 ・ 進学検討会、就職三者面談を通して、本人・保護者の意向を確認した上で、志望先が適性かも含め検討していく。 ・ 学年別朝礼での学級代表スピーチなど、学校行事への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進路指導部との密接な連携により、生徒の希望に応じた進路実現が出来た。 ○ 進学検討会、校内選考会を通じ、ミスマッチや希望が明確でない生徒に指導を行い、生徒の適性に合った進路を実現できた。 △ 3学年として後輩の見本となる行動は出来ているが、鹿女子生としてより高いレベルを目指すべく、集会などで継続的に指導を続けている。 	

平成29年度 第2回 学校評価（生徒）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A: 4・3の合計80%以上 B: 4・3の合計79～60%以上 C: 4・3の合計59～30%以上 D: 4・3の合計29%以下

項目	評価の観点	評価				判定
		4	3	2	1	
1	学校生活	学校生活は楽しい。				A
2	教育方針	校訓(勤労自治, 清純理知, 進取気魄)を意識して学校生活を送っている。				B
3	学力向上	授業を大切にし学力向上や資格取得等に積極的に取り組んでいる。				A
4	授業理解	授業は, 理解している。				A
5	授業評価	先生方は, 教え方を工夫して, わかりやすい授業に努めている。				A
6	自宅学習	自宅での学習は, しっかり取り組んでいる。				C
7	校則遵守	校則や規則などを守って過ごしている。				A
8	特別活動	生徒会活動や部活動及びボランティア活動等に積極的に参加している。				B
9	教育相談	学校は, 生徒の悩み等について, 親身になって相談に乗ってくれる。				A
10	将来設計	将来の進路について, 真剣に考えながら高校生活を過ごしている。				A
11	進路実現	学校は, 生徒の進路実現に向けて, 一生懸命取り組んでいる。				A
12	環境美化	無言作業や校内の美化等にしっかり取り組んでいる。				A
13	健康管理	毎日, 健康管理や安全面に気をつけて生活している。				A
14	施設設備	校内の施設, 設備はよく整備されている。				A
15	連絡	学校からの諸連絡等は, 確実に保護者に届けている。				A
16	満足度	鹿児島女子高等学校に進学して良かったと思っている。				A

<所見>

判定の内訳は, A13, B2, C1で, 第1回の調査と同じである。多くの生徒が, 学校生活を楽しく過ごし, 校訓を意識して真面目に学校生活を送っている様子がうかがえる。また, 「将来設計」「健康管理」の項目については, 前回より増加しており, 進路や毎日の健康に対する意識も高まっている。

一方, 「自宅学習」の項目は相変わらずC評価で, 前回よりも減少しており, 自宅学習の習慣化は本校の大きな課題となっている。「特別活動」の項目も前回より大きく減少しており, 女子高の特徴である部活動や生徒会活動・ボランティアへの積極的な参加を促す必要がある。

平成29年度 第2回 学校評価（教師）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A: 4・3の合計80%以上 B: 4・3の合計79～60%以上 C: 4・3の合計59～30%以上 D: 4・3の合計29%以下

項目	評価の観点	評価(人)				判定
		4	3	2	1	
目標 教育方針	1	18	37	1	0	A
	2	20	34	2	0	
	3	20	34	2	0	
	4	23	32	1	0	
	5	22	33	1	0	
校務	6	22	33	1	0	A
学習指導	7	20	31	4	0	
	8	16	33	7	0	
	9	16	36	4	0	
	10	21	33	2	0	
	11	21	33	2	0	
	12	9	40	7	0	
生活指導	13	23	32	1	0	A
	14	22	33	1	0	
	15	32	22	2	0	
	16	26	29	1	0	
	17	24	30	2	0	
進路指導	18	20	33	3	0	A
	19	23	32	1	0	
	20	22	32	2	0	
	21	25	27	4	0	
	22	21	31	4	0	
	23	21	33	2	0	
保健指導	24	26	28	2	0	A
	25	26	30	0	0	
	26	29	27	0	0	
	27	26	29	1	0	
	28	28	28	0	0	
	29	26	30	0	0	
学年指導 他	30	15	37	4	0	A
	31	22	32	1	1	
	32	20	35	1	0	
	33	22	31	3	0	
	34	34	22	0	0	
	35	19	36	1	0	

<所見>

全ての項目においてA評価であるが、「学力差に応じた個別指導」や「授業の内容や説明を生徒がよく理解できているか」については、不十分な回答が多く、更なる授業改善や個別に対する指導を粘り強く行っていく必要がある。

「ゴミの減量化や節水・節電等」については前回や前年度より増加しているが、引き続き各人が環境教育の推進に努め、全職員の共通理解、共通実践を続ける必要がある。

平成29年度 第2回 学校評価（保護者）

鹿児島女子高等学校

[4:十分達成 3:おおむね達成 2:やや不十分 1:不十分である]

A:4・3の合計80%以上 B:4・3の合計79～60%以上 C:4・3の合計59～30%以上 D:4・3の合計29%以下

項目	評価の観点	評価				判定				
		4	3	2	1					
1	教育方針	本校の教育方針を理解されていますか。				42.6%	53.7%	3.7%	0.0%	A
2	信頼関係	教師と生徒の信頼関係のもとに、諸教育活動が行われていると思いますか。				40.7%	50.0%	9.3%	0.0%	A
3	学校生活	学校に温かい雰囲気があり、生徒が楽しく過ごしていると思いますか。				59.3%	37.0%	3.7%	0.0%	A
4	創意工夫	学校は、創意工夫を生かした教育活動を展開していると思いますか。				37.0%	50.0%	13.0%	0.0%	A
5	学力向上	学校は、学力向上に向けてよく指導していると思いますか。				27.8%	57.4%	14.8%	0.0%	A
6	生徒指導	学校は、生徒の生徒指導に対して、厳しく指導していると思いますか。				63.0%	31.5%	5.6%	0.0%	A
7	礼儀作法	生徒は、誠実であいさつや服装などしっかりして好感がもてますか。				79.6%	18.5%	1.9%	0.0%	A
8	教育相談	教師は、生徒や保護者の悩みや相談に親身になって応じていると思いますか。				41.5%	49.1%	9.4%	0.0%	A
9	部活動指導	教師は、部活動の指導等に積極的であると思いますか。				68.5%	25.9%	5.6%	0.0%	A
10	進路実現	学校は、生徒の進路目標の実現に向けてよく指導していると思いますか。				61.1%	29.6%	9.3%	0.0%	A
11	安全指導	学校は、健康や安全について、しっかりと指導していると思いますか。				50.0%	42.6%	7.4%	0.0%	A
12	健康相談	学校は、生徒の健康上の悩みについて気軽に相談できると思いますか。				33.3%	53.7%	11.1%	1.9%	A
13	生活環境	学校は、きれいで清潔な生活環境になっていると思いますか。				75.9%	22.2%	1.9%	0.0%	A
14	PTA活動	学校は、PTA活動に協力的に参加していると思いますか。				66.7%	29.6%	3.7%	0.0%	A
15	地域連携	学校は、保護者や地域社会に信頼されていると思いますか。				63.0%	35.2%	0.0%	1.9%	A
16	満足度	自分の子どもを本校に入学させてよかったと思っていますか。				75.5%	20.8%	3.8%	0.0%	A

<所見>

ほとんどの項目において高評価で、「教育相談」「学力向上」「学校生活」の各項目は、前回より大きく増加しており、生徒の健康上の悩みについても気軽に相談でき、楽しく学校生活を過ごしていると感じている。

一方、「創意工夫を生かした教育活動を展開しているか」については、前回や前年度より大きく減少しており、授業や部活動、特色ある学校行事等、更なる活性化へ向けた取組を展開していく必要がある。今後も結果を真摯に受け止め、共通理解の元、課題にしっかり取り組んでいくことが重要である。